

生活科学学習指導案

平成28年6月10日（金）学習指導Ⅱ（1の1教室・校庭）1年1組 指導者 芹澤 嘉彦
松本彩美莉

I 単 元 たのしくあそぼうーゆめいっぱい しゃぼんだまこうじょうー

II 考 察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

内容（6） 「自然や物を使った遊び」

(2) 培われる主な資質・能力

- ・身近な物を利用して遊ぶことに興味をもち、友達と楽しく遊ぼうとする態度
- ・身近な物を利用した遊びに使う物やそれを用いた遊び方を考え、自分なりに工夫・見直しをして、それらを素直に表す力
- ・自然現象の不思議さ、遊びに使う物やそれを用いた遊び方を生み出す面白さ、友達と楽しく遊べた自分自身の成長に気付く力

(3) 単元と学習対象の価値

大単元「たのしくあそぼう」は、身近な自然や物を利用した遊びを考え、友達と楽しく遊ぶ学習である。本小単元「ゆめいっぱい しゃぼんだまこうじょう」は、友達と一緒にシャボン玉を膨らます道具や膨らまし方を考え、シャボン玉を作って友達と遊ぶ学習である。

本単元では、学習対象として「シャボン玉」を取り上げた。その価値は以下のとおりである。

シャボン玉は、虹色に輝く膜の色やゆらゆらと揺れながら形作られる球形、ふわふわと空中に浮き風に乗る動きという特徴をもっている。これまでにシャボン玉遊びを経験した子どもであっても、その色や形、動きは子どもたちにとって魅力ある対象である。そのため、シャボン玉の不思議さに興味をもって、遊ぼうとすることができる。

シャボン玉は、膨らます道具の素材の選び方や枠の大きさ、数等の加工の仕方、シャボン膜への空気の入れ方、シャボン玉と膨らます道具との切り離し方といった作り方を工夫することによって、大きさや数に変化する。これらの作り方は、子どもたちにとって時間や労力をかけずに工夫できるものである。そのため、子どもたちは自分の思いや願いに合ったシャボン玉作りに向けて作り方を試行錯誤しながら、何度もシャボン玉に関わることとなる。この中で、膜の色や形、動き、作り方による大きさや数の違いといったシャボン玉の不思議さや、自分の手でシャボン玉を作り出すおもしろさに気付くことができる。

さらに、共通の思いや願いをもったシャボン玉工場の友達同士でシャボン玉作りをすることは、作り方の相談を友達とし合うことにつながり、友達との関わりが必然的に生まれる。そして、このような関わりをすることは、友達と楽しく作ることができた自分自身の成長に気付くことに有効である。

このような気付きの質の高まりによって、子どもたちは達成感や満足感を得て、今後の生活に

おいても、遊びをより楽しくするために工夫・見直しをしたり、友達と楽しく遊ぼうとしたりする態度を身に付けことにつながる。

(4) 今後の学習

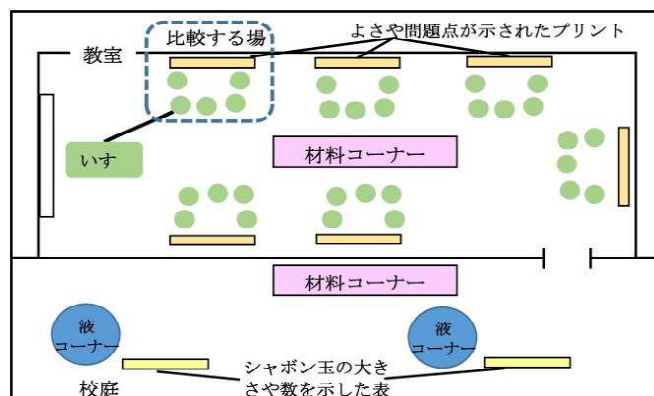
ここでの学習は、1年「あきランドをつくろう」において、落ち葉や木の実等の材料を生かして友達と遊ぶ物を作り、それをういた遊び方を試行錯誤して、友達と楽しく遊ぶ学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、これまでに1年「がっこうたんけんをしよう」において、学校の施設や人々について見たり聞いたりしたいことを考え、学校探検を繰り返す学習に取り組んできた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

・試しの学校探検を基に、学校の施設や人々に関心をもって、安心して楽しく学校生活を送れるようになってきている。このような子どもたちが、シャボン玉作りに関心をもち、友達と楽しく遊べるように、試しのシャボン玉作りをする時間を十分確保する。

・学校の施設や人々について質問することの工夫・見直しをし、自分の思いや願いに合った学校の人々への質問リストを作れるようになってきている。このような子どもたちが、作り方の工夫・見直しをし、自分の思いや願いに合ったシャボン玉の作り方を導けるように、共通の思いや願いをもったシャボン玉工場の友達と、互いの作り方の案を比較する場を設定する。



＜互いの作り方の案を比較する場＞

・学校の施設や人々の様子、学校探検をして学校に詳しくなれた自分自身の成長へと質的に高まった気付きが生まれるようになってきている。このような子どもたちが、膜の色や形、動き、作り方による大きさや数の違いといったシャボン玉の不思議さ、シャボン玉を作り出す面白さ、友達と楽しく作れた自分自身の成長へと質的に高まった気付きが生まれるように、共通の思いや願いをもった同じシャボン玉工場の友達と、これまでの自分の取組や友達と楽しく遊べた理由について伝え合う場を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- ねらい シャボン玉の作り方の相談を友達とし、それを基に作り方を試すことを通して、作り方を変わるとシャボン玉の大きさや数が変わることに気付く。
- 準備 作り方のよさや問題点が示された学習プリント 膨らます道具を作る材料 思いや願いの実現状況が分かるシャボン玉の大きさや数を示した表

3 展 開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、切込みを入れた太いストローでシャボン玉を作ったら、表の2番目くらいの大きさのシャボン玉が作れたな。でも、もっと大きなシャボン玉を作りたいな。 ・友達と相談をすればもっと大きなシャボン玉を作るいい方法が見付かるかもしれないな。早く相談して、いい方法を試したいな。 <p>2 共通の思いや願いをもったシャボン玉工場の友達と、作り方の案の相談をし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストローより大きいシャボン玉にするには、もっと穴が大きな底のないペットボトルがよさそうだよ。 ・ぼくは、このペットボトルを使って、ゆっくりと息を吹いたらいいと思うな。友達は長い針金で大きな穴を作って息を吹いてみると言っていたな。その方法もよさそうだから、ぼくもやってみようかな。 <p>3 相談を基に作り方を試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルでゆっくりと息を吹いたら、前よりも大きなシャボン玉ができたな。でも、もっと大きいのが作りたいよ。 ・針金を試してみたら、ペットボトルより大きなシャボン玉が作れたな。ペットボトルよりも穴が大きいからかな。 ・やったぞ。友達みたいに手で針金を動かしたら、すごく大きいのができたよ。 ・ぼくの作り方は、針金を手で動かす作り方だよ。表の3番目の大きさのシャボン玉になったよ。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前よりももっと大きなシャボン玉を作る方法が見付かったな。大きなシャボン玉が作れるようになって嬉しいな。 	<p>○思いや願いに合ったシャボン玉が作りたいという思いを自覚できるように、作り方のよさや問題点が示された学習プリントを用意し、各々の作り方と思いや願いの満足具合を問いかける。</p> <p>○作り方の相談を友達にしながらかし、自分の思いや願いに合ったシャボン玉を作るという本時の見通しをもてるように、作り方の相談をする意義と本時に取り組みたいことを問いかける。</p> <p>☆作り方の案を得られるように、共通の思いや願いをもったシャボン玉工場の友達と互いの作り方の案を比較する場を設定し、作り方のよさや問題点が示された学習プリントを基に、作り方の案を見合うよう促す。</p> <p>☆自分の考えた作り方の案を具体化して友達に相談をすることができるように、作り方を比較する場に膨らます道具や材料を用意し、その道具や材料を見せたり実際に動かしたりするよう促す。</p> <p>○自分の思いや願いに合った作り方を導けるように、膨らます道具を作るための材料コーナーと作り方を試すシャボン液コーナーを設定し、それらを利用するよう助言する。</p> <div data-bbox="794 1451 1401 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">友達との相談を基に、作り方を変えてシャボン玉を作っている。</p> <p style="text-align: center;">< 発言・行動・道具（2） ></p> </div> <p>○作り方を変えるとシャボン玉の大きさや数が変わるという気付きを自覚できるように、作り方を変えた箇所とその理由を問いかける。</p> <p>○自分の思いや願いに合った作り方を導けたことを自覚できるように、本時の取組と自分の思いや願いに合ったシャボン玉が作れたことを賞賛する。</p>

指導と評価の計画（全5時間）

目標	友達とシャボン玉作りをしながらシャボン玉の作り方の工夫・見直しをすることを通して、シャボン玉の不思議さ、シャボン玉を作り出すおもしろさに気付き、友達と楽しく遊ぶことができる。			
評価 規準	<p>(1) シャボン玉作りに関心を持ち、友達と楽しく作ろうとしている。</p> <p>(2) シャボン玉の作り方を考え、自分なりに工夫・見直しをして、それらを素直に表している。</p> <p>(3) 膜の色や形、動き、作り方による大きさや数の違いといったシャボン玉の不思議さ、シャボン玉を作り出すおもしろさ、友達と楽しく遊べた自分自身の成長に気付いている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）	評価項目＜評価方法（観点）＞
であ う	1	○シャボン玉を作って感想を伝え合い、学習のめあてをつかむ。 ※学習のめあて 「シャボン玉工場みんなで大きなシャボン玉やたくさんのシャボン玉を作って遊ぼう」	○大きなシャボン玉や数が多いシャボン玉を作りたいという思いをもてるように、日常の中でシャボン玉を見た経験を伝え合い、試しのシャボン玉作りをする時間を十分確保する。	◇大きなシャボン玉や数が多いシャボン玉が作れたイメージを絵や文で表している。 ＜学習プリント（1）＞
	1	○同じシャボン玉工場の友達とシャボン玉作りをしながら、作り方を試す。	☆作り方のよさや問題点を見付けられるように、作り方が異なるシャボン玉工場の友達と互いの作り方を評価する場を設定する。	◇作り方のよさや問題点を示したシールを基に、自らの思いや願いの実現状況を記述している。 ＜学習プリント（2）＞
	1	○同じシャボン玉工場の友達と作り方の案の相談をし合い、シャボン玉を作る。（本時）	☆自分の思いや願いに合った作り方を導けるように、共通の思いや願いをもった同じシャボン玉工場の友達と、互いの作り方の案を比較する場を設定する。	◇友達との相談を基に、作り方を変えて、シャボン玉を作っている。 ＜発言・行動・製作物（2）＞
はた ら き か け る	1	○異なるシャボン玉工場の友達と互いが作ったシャボン玉を紹介し合いながら作る。	○膜の色や形、動き、作り方による大きさや数の違いといったシャボン玉の不思議さへの気付きが生まれるように、異なるシャボン玉工場の友達の道具や作り方でシャボン玉を作る場を設定する。	◇膜の色や形、動きの不思議さや、大きさや数の違うシャボン玉を作る方法を絵や文で表している。 ＜学習プリント（3）＞
	1	○友達とシャボン玉で遊び、感想を絵や文で表す。	○自分の思いや願いに合ったシャボン玉を作り出すおもしろさと友達と楽しく遊ぶことができた自分自身の成長についての気付きが生まれるように、共通の思いや願いをもった同じシャボン玉工場の友達とこれまでの自分の取組と友達と楽しく遊べた理由について伝え合う場を設定する。	◇自分の思いや願いに合ったシャボン玉ができ、友達と楽しく遊べたのは、自分が頑張ってきたからであることを絵や文で表している。 ＜学習プリント（3）＞
・ま い と か め す る	1			